



西山富三郎 議員

地域に学ぶ姿勢は

町長

地域が学校・住民が先生



交流を大切にするふれあいセンター（中山）

〔西山〕職員は地域の人々からどう学んでいるか。

〔町長〕地域が学校、住民が先生、現場から学ぶ、そして実践。地域に出かけることが共生のまちづくりに大切である。

住民の声を聴いてきたが、改めて「民の声、庶民の声こそ天の声」を肝に銘じて、いっそう努力したい。

〔西山〕隣保館の活用は。

〔教育長〕地域福祉の向上や人権啓発のための地域交流の拠点である。地域社会に役立つことが活用である。

人権が保障された住みよい地域社会をつくるために必要なサービスを創り出すことや、ネットワークを構築することである。

行政の不祥事対応は

町長

法令遵守に努める

〔西山〕住民から批判

の発生と信頼感の喪失が最大の危機である。

就任一年余り、リーダーシップをどう発揮しているか。

〔町長〕大山町にうまく

よかったと思った、住んでよかったと思ってもらえる仕組みづくりに、先頭に立って取り組んでいる。

緊張感を持って住民の安心・安全の確保に努めている。

〔西山〕職員の不祥事対策は。

〔町長〕職員が公務または公務外において法令に違反する場合は、その内容などによって懲戒処分の基準に照らし対応している。

〔西山〕懲戒審査会の指針を職員は知っているか。

るか。

〔町長〕朝礼などで、法令遵守の徹底を確認している。

〔西山〕議会への対応は、軽視になっていないか。

〔町長〕随時報告している。

〔西山〕町長の責任は。

〔町長〕信用回復と再発防止に取り組んでいる。



朝礼で法令遵守を確認する